

番号	1-2-3		表題	汚水幹線圧力解放部における幹線再構築事例について	
内 容	<p>京浜島汚水幹線は、城南島ポンプ所、東海ポンプ所が吸揚する分流式汚水を自然流下で八潮ポンプ所に流下させる汚水管であり、幹線再構築事業の対象路線に位置づけられている。東海ポンプ所からの圧送管（東海汚水幹線）の圧力解放部の付近は、腐食が進行し鉄筋が露出している状態であり、早急な対策が必要となっていた。そこで、京浜島汚水幹線再構築工事では特に損傷の激しい区間（70.20m）に対して内面被覆工法（製管工法）を実施した。</p> <p>施工路線は流入する汚水を切り回す管きよが存在しておらず、城南島ポンプ所及び東海ポンプ所から圧送される汚水を受け入れながら施工をする必要があり、(1)施工時におけるポンプ所の確実な運転停止、(2)施工時間の制限、(3)施工時の安全対策の3点の課題を抱える工事であった。</p> <p>それぞれの課題について、(1)確実にポンプを停止するための綿密な事前協議と施工時における連絡体制の確立、(2)ポンプ所運転調整による施工時間の確保と時間制約への対応、(3)雨天時や水量増加、硫化水素への対策による作業員の安全確保を実施した。多くの方々の尽力を得ることで、本工事を工期内に無事故で完了することが出来た。</p>				
キーワード	幹線再構築、内面被覆工法（製管工法）、圧力解放部、ポンプ所運転調整、安全対策				
処理区名	森ヶ崎処理区	位置区分	管きよ		
職種区分	土木	施策区分	再構築		
状態区分	工事	新規性	創意工夫により既存技術から新しい知見を得た場合		
実施年度	令和2年度	全体期間	令和2年度		
担当部署	南部下水道事務所 建設課 建設工事担当				
発 表 履 歴	局内	令和3年度設計・工事事例発表会（カワセミ）			
	局外				
調査方法					
関連情報					